

スポーツ科学部競技スポーツ科学科 教育課程編成・実施の方針

スポーツ科学部競技スポーツ科学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

<教育課程の構成>

1. 教育課程は、一般教養科目である「全学共通科目」とスポーツ科学の専門科目である「学部固有科目」から構成される。
2. 全学共通科目としては、幅広い深い教養と総合的な判断力を培うとともに、論理的思考能力とコミュニケーション能力を磨く。
3. 学部固有科目は、導入科目、基礎科目、基幹科目、応用科目の4科目群に分けて編成する。
4. 導入科目は、スポーツ科学を専門的に学ぶための導入として、基礎科目は、スポーツ科学を総合的に学ぶ科目として配置する。
5. 基幹科目と応用科目は、スポーツ科学の専門性を高める科目として配置し、学部共通科目群と学科開講科目群により構成する。
6. 学科開講科目群は、トレーニング、コーチング、マネジメント関連の科目を配置する。
7. 科目履修の順序性を考慮して、履修のための条件を設定する。
8. 履修モデルとして、パフォーマンス向上のための科学的知識とそれを実践する技法を学ぶ競技スポーツモデルと、スポーツ関連組織等の運営について学ぶマネジメントモデルを示す。
9. 学生のキャリア形成に資する教育として、就業体験研修や各種スポーツ現場で実習を行う科目を設置する。特に初年次に、学生が自身の将来の方向性や生き方について考えるきっかけを提供する科目を配置する。
10. 教室外（海外を含む）の施設の見学、体験、報告等を行う事例研究の科目を設置する。
11. 成績評価については、シラバスに到達目標と基準を明記して厳格に行う。